

分野名		生体制御医学分野							
科目名		泌尿生殖器治療学							
英文科目名		Urogenital Surgery							
担当教員	研究指導教員	宮澤克人教授							
	科目担当教員	井口太郎准教授							
代表的な研究課題		腎および尿路結石の成因と治療							
		泌尿生殖器腫瘍学、特に癌幹細胞の解析							
		腎移植に関する臨床的および基礎的研究							
学修目標	一般目標	泌尿器系臓器および男性生殖器の生理的機能およびその異常を個体・細胞生物学・分子生物学的な観点から理解する。							
		腎および尿管結石の成因と治療、泌尿生殖器腫瘍学、特に癌細胞分裂の解析と促進因子、慢性腎不全に合併する上皮小体機能亢進症の成因と治療、尿路通過障害の成因と治療、前立腺肥大症の発生機序と治療について理解を深める。							
		当該研究領域の将来像を考慮しながら臨床への還元方法についても修得する。							
	行動目標 (DPとの関連)	当該科目領域の文献を検索することができる。							(DP1・2・3・4)
		国内外で発表されている研究結果から、実験方法、解析法、今後の研究方針を立てることができる。							(DP1・2・3・4)
		定期的研究発表会における議論を通じて問題点や疑問点を自ら解決することができる。							(DP1・2・3・4)
		基本的実験実習と専門性の高い実験手技を修得できる。							(DP1・2・4)
		尿路結石症の発生機序、治療法の開発に関する実験実習では、尿中および血清、結石中の高分子物質抽出法、同定法、評価法を修得するとともに、分子生物学的手法を修得し、遺伝子異常や蛋白質の機能異常の有無を修得できる。							(DP1・2・3・4)
		腎尿路悪性腫瘍や前立腺癌、肥大症では尿および血清、組織から関連蛋白質の抽出、解析とともに臨床応用法を実験実習できる。							(DP1・2・3・4)
	学位授与方針 (DP)	腎移植や腎疾患では拒絶反応時の尿、血清、組織から最も診断的価値の高い物質を抽出、同定し治療に応用する実習を行うことができる。							
DP1：医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり目立って研究活動を継続する能力を有している。									
DP2：高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。									
DP3：独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。									
		DP4：科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者育成にも貢献する能力を有している。							
教科書		尿路結石のすべて (医学書院)							
		Cells (COLD SPRING HARBOR LABORATORY PRESS)							
		Molecular Cloning (COLD SPRING HARBOR LABORATORY PRESS)							
準備学習	内容	尿路結石ならびに腎移植についての一般的知識を修得する。							
	時間	実験手法の概要を理解する。							
		60分/1回の授業あたり							
課題に対するフィードバック		レポート等の課題を提出させた場合は、内容のチェック・添削を行い、本人へフィードバックして理解度のアップをめざす。							
評価方法等	評価方法	研究成果の発表および討論内容を複数で評価する。							
		レポートによる評価も実施し、総合評価を行う。							
	成績評価基準	評価配分：研究成果の発表 60%、討論内容 20%、レポート 20%							
		教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと							
科目番号		講義	5021201	演習	5021202	実験実習	5021203	特別研究	50501035
単位		4		4		4		6 (2-4年次で)	
		30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H
開講時期		通年		通年		通年		通年	
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次	
	副科目とする場合	1、2、3年次		-		-		-	
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修	
	副科目とする場合	選択		-		-		-	

時間割	区分		講義	演習	実験実習	特別研究
	昼間	前期15週	火曜 4限目	水曜 4-5限目	木曜 4-5限目	金曜 5限目
		後期15週				
	夜間	前期15週	火曜 6限目	水曜 6-7限目	木曜 6-7限目	金曜 6限目
後期15週						
備考		授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。				
担当教員		宮澤克人教授	宮澤克人教授 井口太郎准教授	宮澤克人教授 井口太郎准教授	宮澤克人教授	
授業内容		泌尿器系臓器（腎、尿管、膀胱、尿道、副腎）および男性機能を司る臓器（前立腺、精巣、陰茎）の生理的機能およびその異常を理解するために、個体・細胞生物学・分子生物学的な観点から講義を行う。具体的な病態疾患として腎および尿管結石の成因と治療、泌尿生殖器腫瘍学、特に癌細胞分裂の解析と促進因子、慢性腎不全に合併する上皮小体機能亢進症の成因と治療、尿路通過障害の成因と治療、前立腺肥大症の発生機序と治療などについて講義を行う。さらに、当該研究領域の将来像を考慮しながら臨床への還元方法についても講義する。	講義の理解を深めるために、臨床演習とともに関連学術論文の抄読会および討論会、疾患の実験的あるいは臨床的治療手技に関する演習を行う。当該科目領域の文献検索のみならず国内外で発表されている研究結果から、実験方法、解析法、今後の研究方針を学習する。また、定期的研究発表会における議論を通じて問題点や疑問点を自ら解決すべく学習する。研究の質をさらに向上させるように問題解決能力や思考判断能力を育成する。	基本的実験実習と専門性の高い実験手技を考慮した実験実習を行う。尿管結石症の発生機序、治療法の開発に関する実験実習では、尿中および血清、結石中の高分子物質抽出法、同定法、評価法を習得するとともに、分子生物学的手法を習得し、遺伝子異常や蛋白質の機能異常の有無を評価する。腎尿路悪性腫瘍や前立腺癌、肥大症では尿および血清、組織から関連蛋白質の抽出、解析とともに臨床応用法を実験実習する。腎移植や腎疾患では拒絶反応時の尿、血清、組織から最も診断的価値の高い物質を抽出、同定し治療に応用する実験実習を行う。	尿管結石症、尿路悪性腫瘍の病態解明と治療に関する研究	
授業場所		臨床研究棟3階 泌尿器科学セミナー室	臨床研究棟3階 泌尿器科学セミナー室	臨床研究棟3階 泌尿器科学実験室	臨床研究棟3階 泌尿器科学 他	
授業計画（インターネットに掲載）	講義	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021201.pdf				
	演習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021202.pdf				
	実験実習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021203.pdf				
資格取得などのキャリアパス		泌尿器科学会専門医の取得を目指す。				
研究指導教員の実務経験		医師				
履修上の注意事項		①質問の受付は、随時行う。 ②特別な配慮を必要とする場合は、事前に担当教員に相談すること。 ③主科目として履修する場合は、1年次に共通科目実験動物学を履修すること。 ④履修科目届にて履修希望を届け出し、履修年度の2月に、授業科目履修報告書にて、成績を報告することにより、修了要件の単位として認定される。 ⑤履修報告の際には、履修した科目ごとに「授業改善のためのアンケート」を添付すること。				
オフィスアワー		宮澤克人教授（臨床研究棟3階 泌尿器科学教授室） 木曜日 17:00~20:00（事前にメールでの照会必須） e-mail miyazawa[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@				